

がっこうたんけん

～自分とかかわるものや人の大切さに気付こう～

1年 生活 4～7月, 2～3月 11時間

1 単元の目標

学校探検を通して、学校にはいろいろな施設があることや、たくさんの人々に支えられていることに気づき、自分たちにできることを考えることができる。

2 本単元で育成する資質・能力及び見方・考え方

<知識及び技能の基礎>

- ・学校探検を通して、学校にはいろいろな教室や施設があることや、いろいろな仕事をしている人がいることを知る。

<思考力, 判断力, 表現力等の基礎>

- ・学校のそれぞれの階にある施設とその役割について関係付けることができる。
- ・学校の職員に簡単な質問をして、自分たちとの関わり方を考えることができる。
- ・初めての学校への期待感や学校を知ることによって生まれた興味関心、学校内だけでなく地域の人たちからも自分たちは支えられている喜びをミュージカルで表現することができる。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・学校のきまりを守って生活したり、進んで行事等に参加したりする。
- ・支えてくれている人に感謝の気持ちを伝えたいと願い、その方法を考えようとしている。

<身近な生活に関する見方・考え方>

- ・学校内や学校外で、身近な人々と自分とがどのように関わっているのかを捉え、よりよい生活に向けて自分にできることを考える。

3 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	時
1次	○1回目の学校探検の計画を立てる。	◆グループで探検すること、各教室でその教室らしいものを見つけてくることを確認する。	3
	C0:学校にはどんな部屋があるのかなあ。どんな先生がいるのかなあ。		
	○1回目の学校探検を行う。 ○探検後、それぞれの場所で見付けたことを発表し合う。	◆特別教室も開放し、各チェックポイントにシールを置き、探検カードに貼らせる。	
2次	○もう一度行きたい場所に、2回目の探検に行く。 ○探検報告会を開く。	◆自分との関わり方を知るために、2回目では、担当職員に質問をする。	4

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校には、いろいろな役目のある部屋があるんだね。 ・たくさんの先生が、子供たちのためにいろいろな仕事をしているんだね。 		
3次	<ul style="list-style-type: none"> ○1次の振り返りを通して、学校内外の人との関わりを考える。 ○支えてくれている人に対してどんな気持ちをもったのか、自分たちにできることは何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分の一日を思い起こして、学校の中だけでなく、学校の外へも目を向けられるように、一日の流れを可視化できるようにする。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達がいるから学校が楽しいね。 ・セーフティースタッフさんやキッズスクールのスタッフさんも守ってくれているね。 		
4次	<ul style="list-style-type: none"> ○支えてくれている人に対して、感謝の気持ちをもち、その気持ちを行動に移していく。 ○学校生活に対しての期待感や、これまでの感謝の気持ちなどを、ミュージカルで表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆道徳の単元と合わせて、「ありがとう」の気持ちをどのように伝えるのがいいのかを考えさせる。 	2
<p>Cn: 自分たちは、学校の中だけでなく地域の人からも支えてもらっているんだな。絵や手紙でありがとうの気持ちを伝えたい。</p>			

4 準備するもの及び留意点

- ①「出会わせる人」
 - ・学校職員
 - ・セーフティースタッフ
 - ・キッズスクールスタッフ
- ②「メディア」
 - ・校外や地域の人と関わる活動として、「交通安全教室」, 「子供の体験型安全教室」, 「1年生おめでとう大会（新潟日報社主催）」を新聞社・テレビ局等に情報提供する。
- ③「ふれあい広場」
 - ・学びのあしあと…取組紹介

5 特に関連する内容

- ・国語「はきはきあいさつ」【コミュニケーション能力】
- ・特別の教科 道徳「ありがとうがいっぱい」【道徳性】
- ・特別の教科 道徳「みんな みんな ありがとう」【道徳性】
- ・学級活動「きもちのよいあいさつ」【コミュニケーション能力】
- ・学級活動「1年生をふりかえろう」【メタ認知能力】